

健康課題解決への取り組みと 新たなチャレンジに向けて

WG02 健康経営の推進と健康課題解決

WG02参加メンバー（順不同）

事業者会員 5社

梅田運輸倉庫株式会社
株式会社SHINKOロジ
株式会社大東ロジスティクス
中日臨海バス株式会社
ベイラインエクスプレス株式会社

オブザーバー参加

国土交通省

サポート会員 9社

株式会社ヴィジライズ
ウイングアーク1st株式会社
X Detect株式会社
東京海上スマートモビリティ株式会社
パーソナル情報システム株式会社
リアライズ・イノベーションズ株式会社

（団体・学校法人）

NPO法人ヘルスケアネットワーク
至学館大学
筑波大学



■ 健康課題への取り組み

- **SAS**は継続議論し安全な業界を実現
- **漫然運転**、眠気の検知
- 熱中症対策
(労働安全衛生規則の改正により、熱中症予防対策の義務化
※2025年6月1日施行)
- 健康状態の可視化等
漫然運転・居眠り・脇見等による事故の未然防止

■ 健康セミナー（テーマを決めてWGを超えて参加募集）

■ 健康で安心・安全な業界の実現PJ

- 健康で安心して長く働くことができる環境の実現



TDBC Forum 2025での発表内容

WG02 テーマ 

健康経営の推進と健康課題解決

運輸業界における健康経営の推進と健康課題に対する解決策の実証実験の実施。
その成果や事例を積極的にTDBC内外に発信することにより、
健康で安心・安全な業界の実現を目指す。

© General Incorporated Association Transportation Digital Business Conference TDBC®

運輸デジタルビジネス協議会 **TDBC Forum 2025**
新物流2法への対応と新たな運輸業界の未来に向かって

健康経営の推進と健康課題解決

限定公開



運輸デジタルビジネス協議会 (TDBC)

チャンネル登録者数 71人

チャンネル登録

👍 0

🗨

🔗 共有

🔖 保存

...

© General Incorporated Association Transportation Digital Business Conference.

TDBC Forum 2025
WG02「健康経営の推進
と健康課題解決」

録画

<https://www.youtube.com/watch?v=qm0FZRcq4Qc>

資料

<https://tdbc.or.jp/docs/forums/2025/wg02.pdf>



昨年度の活動（TDBC Forum 2025での発表）



VINSTA RING®



管理医療機器認証番号:306AHBZX00026Z00

【課題】

国交省指針にある無呼吸症候群（以下SAS）の定期検査率は運輸・運送業において達しておらず進んでいない
運転手の状態把握など、簡便な医療機器にて効果測定をすることでSASの傾向がある対象者には速やかに医療機関への受診勧奨をおこなう必要がある

【調査研究概要】

管理医療機器バインスタリングを使用し睡眠時の身体状況を把握、1秒計測から得られる情報を元にSASスクリーニング検査として運用
今回はマウスピース使用者の効果測定検証として活用
※PSG（確定診断）検査後のマウスピース治療ではCPAPのように医療機関での継続的な改善がはかれていない
今回検証することで潜在的な睡眠改善につながっているかを確認し検証結果次第で医療機関への受診勧奨を勧める

【実施方法】

バインスタリングにて睡眠時に装着し起床時着脱
スマホアプリ経由にてデータ同期
クラウドに集約し睡眠状態を含めSASのODI解析
評価値を超える対象者や正常な対象者を集計する

WG02 テーマ



健康経営の推進と健康課題解決

運輸業界における健康経営の推進と健康課題に対する解決策の実証実験の実施。

その成果や事例を積極的にTDBC内外に発信することにより、
健康で安心・安全な業界の実現を目指す。

WG02のみに留まらず、多くの事業者様、サポート会員様と
健康経営の推進が出来ればと思っております！
健康セミナーへの参加、実証実験やアンケートへのご協力もお願いいたします！



名古屋高速バス横転事故（2022年8月22日）

大型乗合バスの横転事故（名古屋市北区）

【事故概要】

- 日時：令和4年8月22日 10時12分頃
- 概要：乗客7名を乗せた大型乗合バスが名古屋高速道路高速11号小牧線（下り）の豊山南料金所の減速車線を走行中、左方に斜走して分岐帯に衝突、本線内に進入し、横転・停止した。当該車両は衝突後直ぐに車両前部から出火した。後続の小型乗用車が炎上した当該車両の後部に衝突した。
- この事故により、当該運転者と乗客1名が死亡し、乗客1名が重傷を負い、乗客5名と小型乗用車の運転者が軽傷を負った。

【原因】

- 運転者（推定）
 - ・ **SASのおそれを自覚**しているにもかかわらず、事業者に相談したり、検査を受けることをしなかった。
 - ・ **意識レベルが低下**したにもかかわらず、運行を継続した。
 - ・ **乗客にシートベルト着用を徹底させることが不十分であった。**
- 事業者・運行管理者
 - ・ **適性診断（一般）で「SASのおそれが非常に高い」と指摘されていることを見逃し**、スクリーニング検査や治療を受けさせることがなかった。
 - ・ 運行基準図において、**現場の速度規制を超えるものが複数あり**、速度規制を超える速度による運転が誘発された可能性があった。

【再発防止策】

- SASへの適切な対応
 - ・ **適性診断においてSASのおそれを指摘された運転者の把握**に努め、SASのおそれについて指摘を受けた運転者に対しては、**積極的にスクリーニング検査**を受診させること。
- 適切な運行管理
 - ・ 始業点呼における運転者の健康状態及び**睡眠状態の確認**を徹底すること。
 - ・ 定期健康診断において、「要検査」等の所見が付された運転者に対する**健康管理を徹底**すること。
 - ・ 運行基準図の作成にあたっては、**現場の最高速度規制**を守ること。
 - ・ **乗客にシートベルトの着用**を促すとともに着用確認を行うよう、運転者に指導すること。



SASのおそれを感じたら、まずはスクリーニング検査を!!



スクリーニング検査

※NPO法人 ヘルスケアネットワークのHPから引用

【事故事例4】

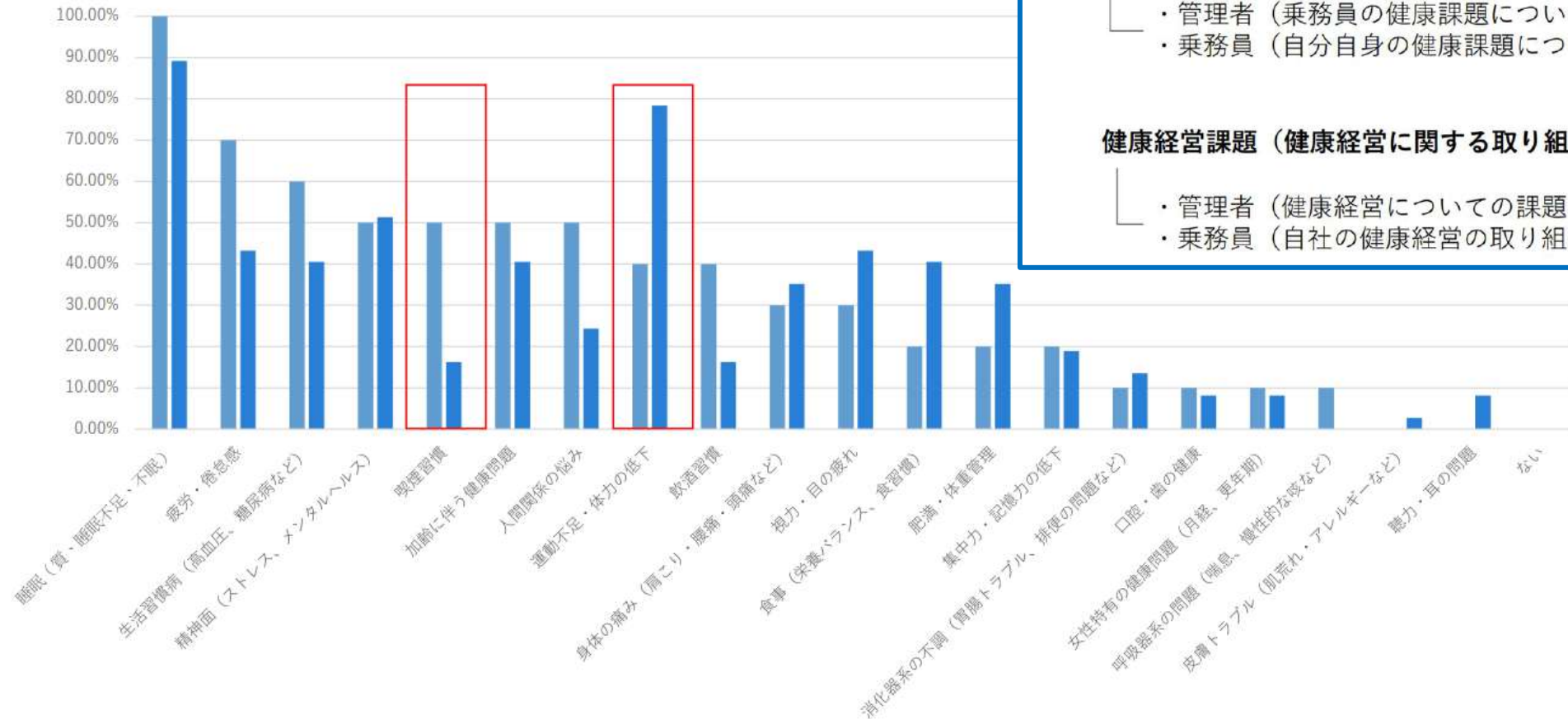
出典：国土交通省「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策マニュアル」
～SAS対策の必要性和活用～（令和7年7月版）

https://www.mlit.go.jp/jidoshasha/anzen/03manual/data/sas_manual.pdf

添付資料

昨年度の活動（TDBC Forum 2025での発表）

ドライバーが抱えている健康課題で強いと思われるもの(管理者)



健康意識に関する調査

健康課題（健康に関するどの指標に課題があるのか）

- ・ 管理者（乗務員の健康課題について・会社としての興味）
- ・ 乗務員（自分自身の健康課題について）

健康経営課題（健康経営に関する取り組みに課題があるのか）

- ・ 管理者（健康経営についての課題、取り組みについて）
- ・ 乗務員（自社の健康経営の取り組みに対する期待について）

法令違反別の死傷事故件数及び構成率（令和6年）



法令違反 事故類型	死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合 計	
	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)
信号無視	8	4.0	55	6.9	270	3.5	333	3.9
通行区分違反	4	2.0	12	1.5	34	0.4	50	0.6
最高速度違反	5	2.5	0	0.0	2	0.0	7	0.1
横断・転回等違反	3	1.5	4	0.5	53	0.7	60	0.7
車間距離不保持	0	0.0	3	0.4	66	0.9	69	0.8
追越し禁止違反	0	0.0	9	1.1	35	0.5	44	0.5
踏切不停止	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
右折違反	0	0.0	3	0.4	33	0.4	36	0.4
左折違反	2	1.0	5	0.6	45	0.6	52	0.6
環状交差点違反	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
優先通行妨害	8	4.0	26	3.3	67	0.9	101	1.2
交差点安全進行違反	13	6.5	51	6.4	311	4.1	375	4.4
歩行者妨害等	16	8.0	57	7.2	139	1.8	212	2.5

出典：公益社団法人全日本トラック協会
「事業用貨物自動車の交通事故の発生状況
（令和6年データ）」

https://jta.or.jp/wp-content/themes/jta_theme/pdf/anzen/kotsuanzen_ichiran/jiko_r07.pdf

死亡事故件数 200件のうち、安全運転義務違反は 123件、61.5%
その内、漫然運転は38件で、全体の 19.0%、安全運転義務違反での30.9%

法令違反 事故類型	死亡事故件数	重傷事故件数	軽傷事故件数	合 計	
	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)
安全運転義務違反	6	3.0	15	1.9	508
漫然運転	38	19.0	89	11.2	862
脇見運転	29	14.5	95	12.0	1,275
動静不注視	6	3.0	62	7.8	1,137
安全不確認	37	18.5	224	28.2	2,273
安全速度違反	6	3.0	8	1.0	26
その他	1	0.5	11	1.4	114

法令違反別死亡事故件数の推移

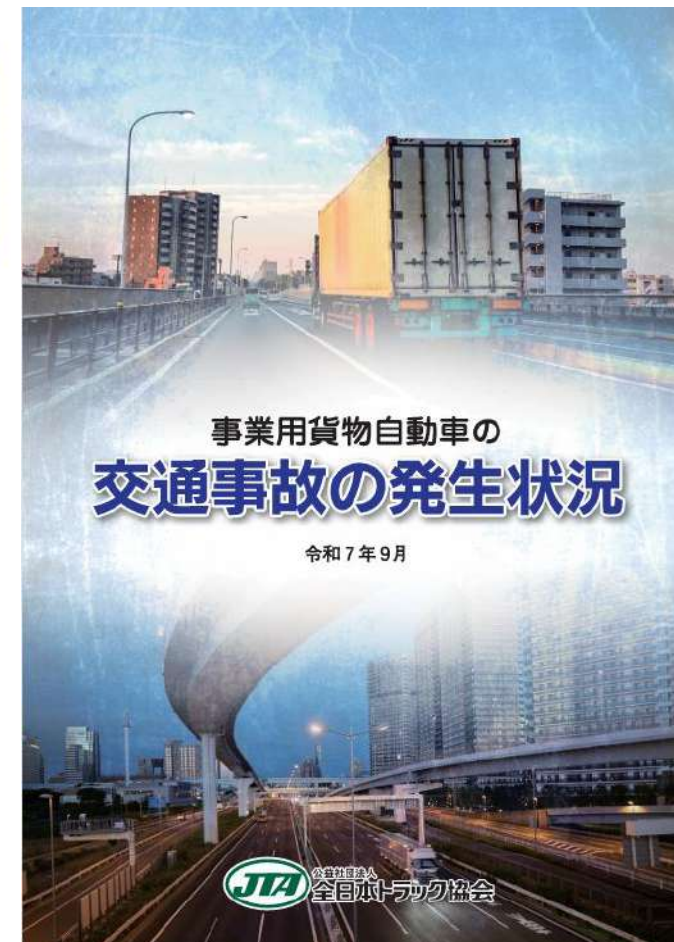
表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移（平成 27-令和 6 年）

（件）

年 法令違反	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
漫然運転	63	57	58	50	57	37	36	28	52	38
脇見運転	55	35	41	41	47	24	26	30	23	29
安全不確認	49	40	36	51	40	51	37	20	34	37
合計	308	258	271	253	239	207	200	169	199	200

出典：公益社団法人全日本トラック協会
「事業用貨物自動車の交通事故の発生状況
（令和 6 年データ）」

https://jta.or.jp/wp-content/themes/jta_theme/pdf/anzen/kotsuanzen_ichiran/jiko_r07.pdf



健康セミナー（テーマを決めてWGを超えて参加募集）



開催日	内容	ソリューション	登壇者
11月18日（火）	「MIMAMO WELLNESS」 10秒で簡単に健康状態の把握が可能に	MIMAMO WELLNESS	東京海上スマートモビリティ株式会社
12月18日（木）	事故の予兆を科学する：睡眠不足による「漫然運転」のメカニズムと検知システム	Vigirise	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 / 株式会社ヴィジライズ 阿部高志 様
1月22日（木）	漫然運転防止に向けたセルフケアツール “Wemental” ～認知行動療法メソッドによるストレス抵抗カアップ～	Wemental	パーソナル情報システム株式会社 伊東俊作 様
2月17日（火）	「バインスタリング」で始める従業員のSASスクリーニング ～リングを着けて寝るだけで～	バインスタリング	X Detect株式会社 代表取締役 劉 勝前 様
2月17日（火）	「まあいいか」を見逃すな！健康診断+αで自身と向き合う （国土交通省「プロドライバーの健康管理・労務管理の向上、飲酒運転防止による事故防止に関するセミナー」から）	取組事例	株式会社新宮運送 代表取締役 木南晋一 様
6月15日（月）	指輪をはめて寝るだけ、ひとつで何人でもSASスクリーニング検査ができる	バインスタリング	日野コンピューターシステム株式会社 須藤晃志 様
TDBC Forum 2026 7月10日	バインスタリングの実証実験から正式導入。バインスタリングの活用でSASの疑い。医療機関での診断を経てCPAPで症状改善。	取組事例	株式会社セイリョウライン
4月22日 定例会合	管理栄養士による健康経営の取り組み（大橋運輸株式会社）	取組事例	TDBC事務局



Wementalによるストレス抵抗力の向上

出典：パーソナル情報システム株式会社「Wemental」説明資料からの抜粋

14. ゲーミフィケーションを取り入れた進め方

認知行動療法メソッド

personal

ゲーミフィケーション要素を取り入れ、利用モチベーションUPを目指した作り！

※スクウェア・エニックス社とアドバイザリー契約を締結

ココロを知り

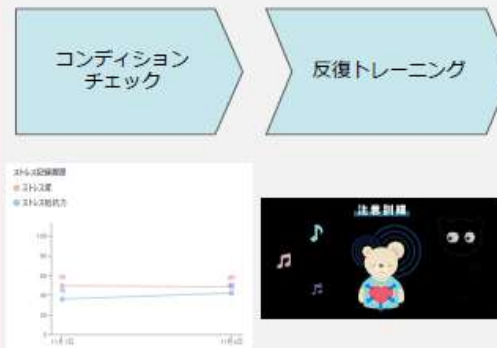
タイプ判定・基本学習コンテンツ



約40問のアンケート回答結果よりタイプを分類し、**タイプ別に最適な学習コンテンツ**を提供します。タイプ別学習は**特許取得**ノウハウです。学習は主に認知行動療法の学習とセルフトレーニングに分かれます。

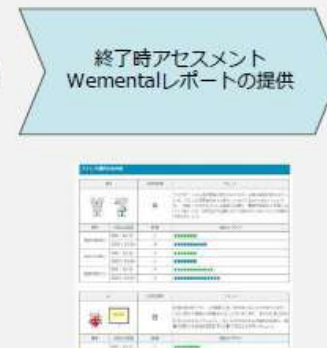
ココロを測り・鍛える

反復コンテンツ



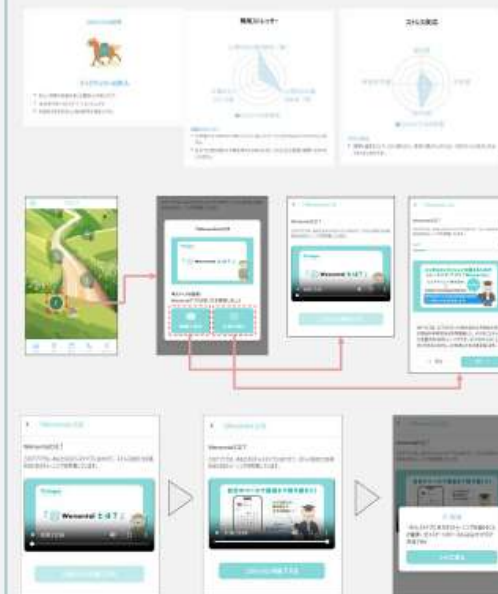
約20秒で終わるストレスチェックを毎日繰り返すことで、**主観と客観でココロのコンディションを把握**できます。学んだコンテンツからお気に入りのワークを選んで繰り返すことで**ストレス抵抗向上を測ります**。

振り返りコンテンツ



全ての学習および反復を終了させたタイミングで再度アセスメントをし、**ストレス抵抗レポートによるフィードバック**でご自身のココロの状態を振り返りください。

画面イメージ



出典：パーソナル情報システム株式会社「Wemental」説明資料からの抜粋

5. Wementalで実現する「事故ゼロ」への2つのアプローチ

personal



漫然運転の軽減

主な要因と現状

SAS（睡眠時無呼吸症候群）と**高ストレス**によるストレス反応

▲ SAS対策は進む一方で、ストレス反応を抑制する**具体的対策が不足**

認知行動療法メソッドによる解決策（セルフトレーニング）

🔍 自身のタイプや体調を「測り知り」

🌱 体調に合わせて「整え」

📈 能力を「伸ばす」

RESULT

高ストレスに陥りにくい強い精神力と
レジリエンス力向上により漫然運転を軽減



優秀なドライバーの行動特性定着

行動パターンのメカニズム

優秀なドライバーの**行動パターン**を抽出

思考パターン → 行動パターン

認知行動療法メソッドによるトレーニングワークの提供



思考パターンの育成

優秀な行動に至るための適切な考え方を育む



ボトルネック思考の矯正

望ましい行動を阻害する誤った認知を修正する

RESULT

行動変容への意識育成により
優秀なドライバー育成に寄与

【重要な要素】

1. セルフケアの習慣化

- ・自身の体調を常に心がける
- ・ストレス抵抗という「貯金」を日頃から意識

2. レジリエンス力を高める

- ・不調から自身の能力で回復

3. 行動特性の育成・定着

- ・理想的な行動に至る考え方を育む

- ストレスチェックから改善へ、その先の安全運転への意識・行動変容に
 - 漫然運転の要因となる可能性のあるストレスを改善し、トラックドライバーの心の健康と安全を実現
パーソナル情報システム株式会社 “Wemental”の推進
 - →理想的なドライバー・コンピテンシーモデルを構築し、安全運転への意識・行動変容を促す（WG01との連携）
 - 物流業界における画期的な取り組みとして補助金を活用し社会実装を目指す
【国土交通省】 「デジタル技術を活用した荷主・物流事業者の行動変容促進事業」への応募
「デジタル技術を活用した物流安全行動変容のDX実証」



【国土交通省セミナー】プロドライバーの健康管理・ 労務管理の向上、飲酒運転防止による事故防止に関するセミナー

プロドライバーの健康管理・労務管理の向上、飲酒運転防止による事故防止に関するセミナー

国土交通省では、運送事業者等の今後の事故防止対策の参考となるよう「プロドライバーの健康管理・労務管理の向上による事故防止に関するセミナー」を開催してきました。本年度につきましては、健康起因事故防止のための取組や過労運転防止のための取組に加えて、未だ発生する飲酒運転事故対策についても、有識者、関係企業及び国土交通省より紹介しています。

令和7年度

1. 『健康起因事故及び飲酒運転の防止に係る国土交通省の取組』
(国土交通省 物流・自動車局 安全政策課)
2. 『ジェイアールバス関東の安全への取り組みについて』
(ジェイアールバス関東株式会社 専務取締役 松橋 賢一)
3. 『飲酒事故防止の取り組み事例について』
(東亜物流株式会社 輸送事業第一部 部長 執行役員 戸田 一也)
4. 『改訂版 「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策マニュアル」の解説と運用～適切な検査と治療は安全運行への生命線～』
(NPO法人ヘルスケアネットワーク（OCHIS） 副理事長 作本 貞子)
5. 『「まあいいか」を見逃すな！健康診断+αで自身と向き合う』
(株式会社新宮運送 代表取締役 木南 晋一)

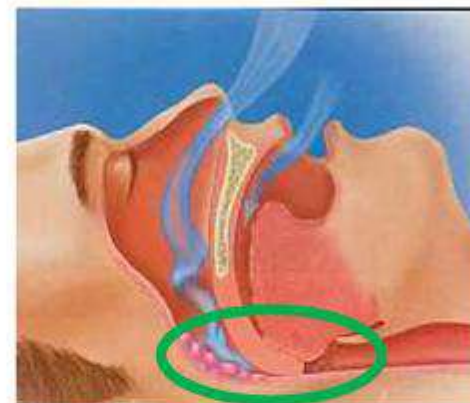
出典：国土交通省「プロドライバーの健康管理・労務管理の向上、飲酒運転防止による事故防止に関するセミナー」2026年2月3日開催

https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/health/r7_seminar.html



<SASと事故リスク>

- 既存の研究において、以下が明らかになっている
SASの有無により、**自動車の事故率は2.4倍の差**
- 日本の男性トラック運転者の**約7～10%**、女性の**約3%**が中等度以上の睡眠呼吸障害であることが示されている。



睡眠中に舌が喉の奥に沈下することにより
気道が塞がれ、睡眠中に頻回に呼吸がとまる状態

<自動車事故報告書等の取扱要領の一部改正>

SASが関わる事故の発生状況を把握するため、**SASが疑われる居眠り運転、漫然運転による事故**を健康起因事故として報告することを明示するように、**通達改正**
(令和4年3月)

自動車事故報告書等の取扱要領

11 運転者の健康状態に起因する事故

(略)

睡眠時無呼吸症候群が疑われる居眠り運転、漫然運転を伴う事故においては、規則第2条第9号に該当する事故として報告させるよう事業者等を指導すること。「睡眠時無呼吸症候群が疑われる」とは、過去に同疾病と診断されたことがあり治っていないもの、又は「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群対策マニュアル」(平成27年8月国土交通省自動車局)に記載のSASの症状があるものをいう。

出典：国土交通省「健康起因事故及び飲酒運転の防止に係る国土交通省の取組」

https://www.mlit.go.jp/jidosha/anken/03safety/resource/data/seminar2026_1.pdf



改訂版「自動車運送事業者における 睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策マニュアル」の解説と運用

～適切な検査と治療は安全運行への生命線～

NPO法人ヘルスケアネットワーク

副理事長 作本 貞子

国土交通省健康起因事故対策協議会委員

事業用自動車に係る健康起因事故防止ワーキンググループ委員

「安全と健康を推進する協議会」(両輪会)代表



健康と安全のサポート

NPO
法人

ヘルスケアネットワーク

東京オフィス

〒101-0052 東京都品川区北品川4-7-35
御殿山トラストタワー11F
(一社)専門医ヘルスケアネットワーク事務局内
TEL 03-3295-1271 FAX 03-3295-1274

大阪オフィス

〒536-0014 大阪市城東区鶴野西2-11-2
大阪府トラック総合会館3階
TEL 06-6965-3666 FAX 06-6965-5261

E-mail sas@ochis-net.com http://www.ochis-net.jp/

ヘルスケアネットワーク

検索

出典：『改訂版
「自動車運送事業者における睡眠時
無呼吸症候群
(SAS) 対策マ
ニュアル」の解説
と運用
～適切な検査と治
療は安全運行への
生命線～』

(NPO法人ヘルス
ケアネットワーク
(OCHIS) 副理
事長 作本 貞子)

https://www.mlit.go.jp/jidosha/anz/en/03safety/resource/data/seminar2026_4.pdf

自動車運送事業者における
睡眠時無呼吸症候群対策マニュアル
～SAS対策の必要性和活用～

令和7年7月

国土交通省物流・自動車局

< 目次 >

はじめに.....	1
第1章 睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策の必要性	
1. SASとは？.....	2
2. SASの症状.....	2
3. SASと交通事故.....	2
4. SASと疾病との関連性.....	3
5. SASと生活習慣.....	4
6. SASへの対応における事業者・管理者の役割.....	5
7. SASに起因すると疑われる交通事故事例.....	5
第2章 睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査の進め方と活用	
1. SASスクリーニング検査とは？.....	6
2. SASスクリーニング検査受診までの準備.....	7
(1) 啓発・教育	
(2) 検査前に周知すべきこと	
3. SASスクリーニング検査の進め方.....	8
(1) 検査対象者の抽出	
(2) SASスクリーニング検査の実施について	
4. 専門医療機関のかかり方.....	11
(1) 医療機関の予約	
(2) 精密検査（確定診断）及び治療	
(3) CPAP治療について	
5. 運行管理を踏まえた社内での取扱.....	13
(1) 治療状況に合わせた適切な勤務形態と乗務可否判断	
(2) 治療継続の確認	
(3) 管理者・点呼者の役割	
(4) 睡眠教育の重要性	
6. その他良質な睡眠を確保するための情報.....	15

出典：国土交通省「自動車
運送事業者における睡眠時
無呼吸症候群（SAS）対策
マニュアル」

～SAS対策の必要性和活用～（令和7年7月版）

[https://www.mlit.go.jp/jid-
osha/anzen/03manual/da-
ta/sas_manual.pdf](https://www.mlit.go.jp/jid-
osha/anzen/03manual/da-
ta/sas_manual.pdf)

大型乗合バスの横転事故（名古屋市北区）

【事故概要】

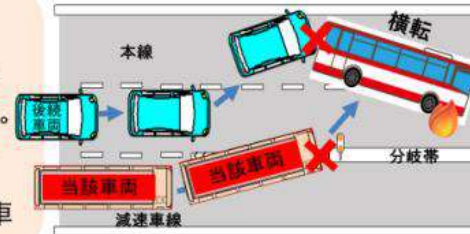
- 日時：令和4年8月22日 10時12分頃
- 概要：乗客7名を乗せた大型乗合バスが名古屋高速道路高速11号小牧線（下り）の豊山南料金所の減速車線を走行中、左方に斜走して分岐帯に衝突、本線内に進入し、横転・停止した。当該車両は衝突後直ぐに車両前部から出火した。後続の小型乗用車が炎上した当該車両の後部に衝突した。
- この事故により、当該運転者と乗客1名が死亡し、乗客1名が重傷を負い、乗客5名と小型乗用車の運転者が軽傷を負った。

【原因】

- 運転者（推定）
 - ・ **SASのおそれを自覚**しているにもかかわらず、事業者に相談したり、検査を受けることをしなかった。
 - ・ **意識レベルが低下**したにもかかわらず、運行を継続した。
 - ・ **乗客にシートベルト着用を徹底させることが不十分であった。**
- 事業者・運行管理者
 - ・ **適性診断（一般）で「SASのおそれが非常に高い」と指摘されていることを見逃し**、スクリーニング検査や治療を受けさせることがなかった。
 - ・ 運行基準図において、**現場の速度規制を超えるものが複数あり**、速度規制を超える速度による運転が誘発された可能性があった。

【再発防止策】

- SASへの適切な対応
 - ・ **適性診断においてSASのおそれを指摘された運転者の把握**に努め、SASのおそれについて指摘を受けた運転者に対しては、**積極的にスクリーニング検査**を受診させること。
- 適切な運行管理
 - ・ 始業点呼における運転者の健康状態及び**睡眠状態の確認**を徹底すること。
 - ・ 定期健康診断において、「要検査」等の所見が付された運転者に対する**健康管理を徹底**すること。
 - ・ 運行基準図の作成にあたっては、**現場の最高速度規制**を守ること。
 - ・ **乗客にシートベルトの着用**を促すとともに着用確認を行うよう、運転者に指導すること。



SASのおそれを感じたら、まずはスクリーニング検査を!!



スクリーニング検査

※NPO法人 ヘルスケアネットワークのHPから引用

【事故事例4】

出典：国土交通省「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策マニュアル」
～SAS対策の必要性和活用～（令和7年7月版）

https://www.mlit.go.jp/jid-ocha/anzen/03manual/data/sas_manual.pdf

巻末資料

- SASスクリーニング検査～医療機関での診断～治療・改善の事例化による普及の推進（SASによる交通事故の撲滅）
 - SASに対する事業者、トラックドライバーの意識を変革し、トラックドライバーの健康と安全を実現（WG09との連携）
→TDBC Forum 2026での事例発表、メディア記事化
16:30～Track A
「事故を防ぐだけじゃない、人生を変える安全管理へ～SAS発見からCPAP治療につながった乗務員健康DXの実例～」
 - 販売代理店の日野コンピューターシステム株式会社と連携した社会実装の推進（健康セミナーの実施）
 - NPO法人ヘルスケアネットワークとの連携（TDBC会員参加）



リング型デバイスによるSASスクリーニング検査

安心安全ソリューション -リングを嵌めて寝るだけでSASスクリーニング-

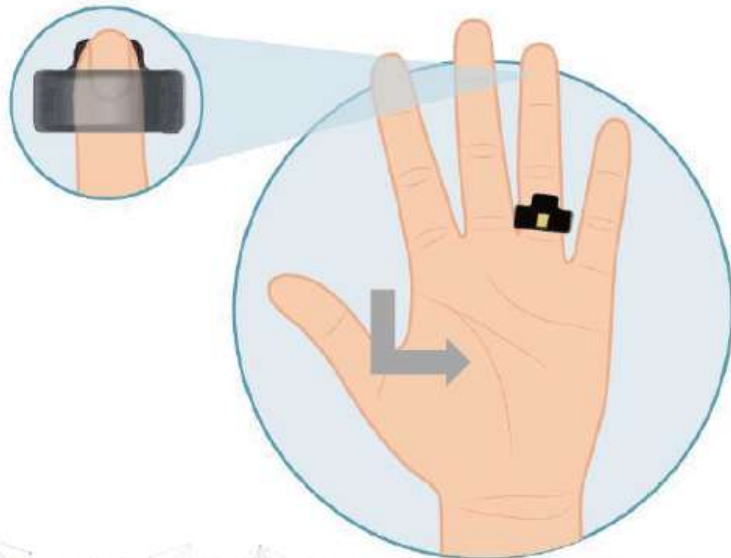
SASスクリーニング

「バインスタリング」を付けて一晩寝るだけでSASスクリーニング検査完了

5段階で結果レポートを出力し、レポートをもってそのまま医療機関で受診可能です！

①リング型デバイス※1を嵌めて一晩寝るだけ！
※1：サイズは3種類あります。

クラスII医療機器の認証番号は「306AHBZX00026Z00」



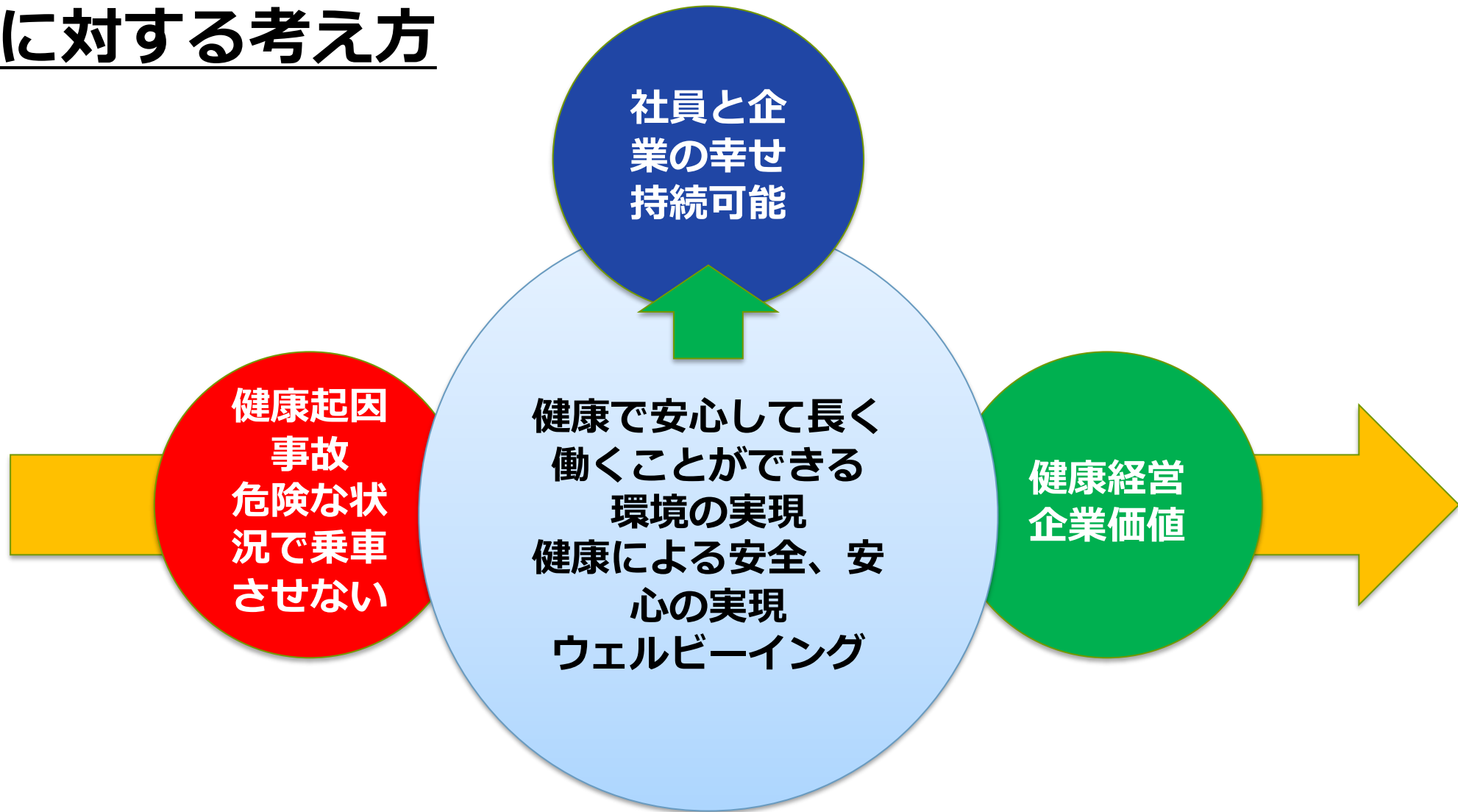
②診断結果は管理画面ですぐに閲覧可能！
SASの兆候を5段階で判定します。



睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査結果		測定日	2024/03/30				
Pyx17		機					
睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査結果をご報告します。							
今回のスクリーニング検査は、ウェアラブルデバイスにより睡眠中の呼吸状態や酸素飽和度を測定し、睡眠時無呼吸症候群の疑いを判定しました。							
		ASAヘルスケア 03-6754-0000 03-6754-0001 03-6754-0002					
判定	結果						
E	検査時無呼吸症候群が疑われる可能性があります。本検査結果を主治医の先生、専門の医療機関までお伝えください。						
	OD13 0 5 15 30 40 正常軽度中程度重症						
検査結果							
<table><tr><td>OD13 %</td><td>40.3</td></tr><tr><td>検査時間</td><td>4時間15分</td></tr></table>		OD13 %	40.3	検査時間	4時間15分	OD13とは、無呼吸発覚回数の低下指数です。50%が基準値から5%以上低下した1時間あたり25回の回数を示します。	
OD13 %	40.3						
検査時間	4時間15分						
判定基準							
A: 正常		OD13 ≥ 1%					
B: 正常の範囲内ですが、軽度の無呼吸症候群が疑われる可能性があります。		1% < OD13 ≤ 5%					
C: 軽度から中程度の無呼吸症候群が疑われます。		5% < OD13 ≤ 15%					
D: 中程度から重症の無呼吸症候群が疑われます。		15% < OD13 ≤ 30%					
E: 重症の無呼吸症候群が疑われます。		30% < OD13 ≤ 40%					
F: 判定基準が不明で判定できません。		----					

出典：健康セミナー資料「指輪をはめて寝るだけ、ひとつで何人でもSASスクリーニング検査ができる」（日野コンピューターシステム株式会社）

健康に対する考え方



TDBC-WG02 健康セミナー



中日臨海バス 健康の取り組み

～社員健康は、社員幸せと輸送の安全性向上に不可欠！～



2025年3月26日

総括本部 厚生課 管理栄養士 奥埜 千佳

人と人 街と街。繋ぐコミュニケーション。

中日臨海バス株式会社 | www.crb.co.jp

WG02健康セミナー（2025年3月）

「中日臨海バス 健康の取り組み ～社員の健康は、社員の幸せと輸送の安全性向上に不可欠！～」

[https://tdbc.assets.newt.so/v1/d915be55-8a3f-49be-89bd-f2f8bca00479/TDBCWG02Seminor 中日臨海バス「健康の取り組み」.pdf](https://tdbc.assets.newt.so/v1/d915be55-8a3f-49be-89bd-f2f8bca00479/TDBCWG02Seminor%20中日臨海バス「健康の取り組み」.pdf)

大橋運輸を支える管理栄養士

健康経営フライト500にも選出 「欠かせない人材」

【中部】大橋運輸 きっかけ。日本の大言やアドバース、地
（鍋嶋洋行社長、愛学を卒業後は法律の域の無料相談といっ
知県瀬戸市）で管理壁にあたりながらもた対応を担っている。
栄養士として働く太前向きに機会をうか

を手がける部署で現場へ出つつ、将来を見据え、経験を積み日々、「意識を高

ち」に言及。「意識の変化が安全や長く働ける元氣な体づくりにとつながれば良

い」という人がいることだ。社員意識改革の太田内閣は、それぞれの場所

美善(タ・ミン)さん、永住権を得た。一方、田内さん、さんと田内里奈さんと田内の求人に出会った。今年大学を卒業したばかりの社会人一年

めるには知識を高めたい」と力を込め、また遠く三顧点で見ることとする同社た田内さんは、「健の考えのもと、朝礼康の維持は社内の活高い評価を感じさせ

フライト100(同
認証制度内で全国の
中小企業を対象とし
たトップ500社
へも選出された同社
を支える、貴重なス
タッフだ。

「一治療よりも予
生、学生時代のニ
ビリアルバイトを通
じては、客として訪
れるドライバーや作
業員の偏りがちな食
生活を目の当たりに
して胸を痛め、食を

やセミナーを通して情報を発信へ力を注ぐ。

健康への積極アプローチが生



るコメント。加えて「セミナーや地域の健康相談などで、社内だけでなく、社外においても健康促進に役立つ

太さん大橋運輸へ入社したのは、昨年の8月。出身地の中国で医師を目指しにも好印象を覚え、義を見出した。

存在となってほしい」と力を込め、両者を「自社にとって欠か

ていた過程で「治療よりも予防が大切」との結論に行き着き、その舞台を求

康診断の喜理とフオ

は「治療よりも予防のメッセージに強く

大橋運輸へは、や

な低下や健康起因による重大事故の未然防止

めて来日したことが、ローをメインに、助は引越して生前整理

太さん(右)と田内さん
る。(朝妻聖一)



太さん(右)と田内さん

(朝妻聖)る。

- 健康で安心・安全な業界の実現
健康で安心して長く働くことができる環境の実現
(≠健康経営、≠ウェルビーイング)
→ **そのための仕組み作り**
- 中日臨海バス株式会社の事例を基に仕組み化できないか
 - 運行管理者、安全統括管理者 → 管理栄養士等の専門家に支援してもらえる仕組み (労働安全衛生法 保健師、産業医)
 - 管理栄養士 + 睡眠、運動、精神的、社会的支援の知識
 - 関連が強い大学との協議 → 厚生労働省への相談
 - 管理栄養士の関係団体との協議
 - 大橋運輸株式会社 (瀬戸市) との情報交換



- 健康で安心・安全な業界の実現
健康で安心して長く働くことができる環境の実現

その実現のための実証実験に向けて 本格的に動き出しました

- 中日臨海バス株式会社の事例を基に仕組み化できないか
 - 運行管理者、安全統括管理者 → 管理栄養士等の専門家に支援してもらえる仕組み（労働安全衛生法 保健師、産業医）
 - 管理栄養士 + 睡眠、運動、精神的、社会的支援の知識
 - 関連が強い大学との協議 → 厚生労働省への相談
 - 管理栄養士の関係団体との協議
 - 大橋運輸株式会社（瀬戸市）との情報交換





荷主が変わらなければ物流ではなく、経済が破綻する
～運送事業者と荷主とのパートナーシップで解決～



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>

unyu.co@wingarc.com

協議会スポンサー

